

なかよしひろば



2012年3月31日に理事会は閉園することになっていますが、園児、保護者、先生が一体となり香椎幼稚園の存続を願って、まだまだ頑張っています。

香椎幼稚園は地域の宝です!

香椎幼稚園誕生の経緯、歩みを裏面にて詳しく紹介しています

50年前幼稚園のなかった香椎の地に、『地域への恩返し』という奉仕の精神の下、県立の女専・および福岡女子大学の卒業生が費用を拠出して生まれた香椎幼稚園は、目加田さくを福岡女子大学名誉教授の保育理念『親子で共に育つ幼児教育』を創設以来実践し、福岡女子大と共に長らく地域社会に貢献してきました。今回女子大の改革に際し、女子大が敷地の返還を求めたことから、閉園の危機に直面しています。経営者である学校法人筑紫海学園の理事会は、理事全員が女子大同窓生でもあるため女子大の改革を優先させ、閉園を決めています。

卒園児も約4800人にもものほり、50年もの間変わらず続けられてきたその*個性的な保育内容は、今日の多様化

した社会にこそ必要であり、また子どもに受けさせる幼児教育を選択できる今、必要不可欠な選択肢の一つです。

私たちは女子大の改革に反対している訳ではありません。ただ幼稚園を残したいだけなのです。小規模ながら安定した経営状態の幼稚園をなぜ潰す必要があるのでしょうか? 保護者、卒園生、そして現場にたっている先生たちのこのような強い思いが、維持存続運動の原動力となっています。

※約20種類の作物を園庭で育て調理して食べる食育活動や、工夫が凝らされたごっこ遊び等。保育内容については『なかよしひろば』第2、3号にて一部ですが特集しています。ご覧になりたい方は裏面下部の連絡先までぜひご連絡下さい。

少子化って言われているけれど...

昨今、少子高齢化問題が頻繁に取り上げられています。東区、特に香椎幼稚園周辺地域の子ども数を調べてみると、下表のように高層マンションなどの建設が相

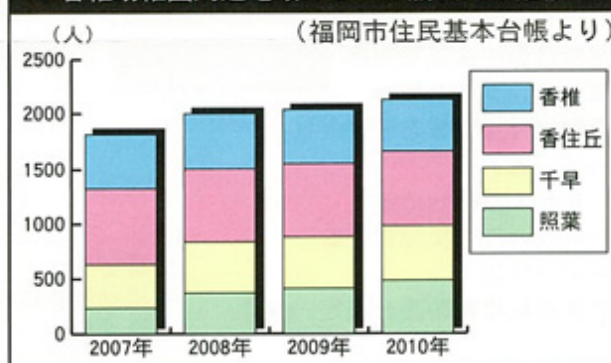
次ぎ子どもの数は増加傾向にあります。香椎駅前地区も区画整理の真っ最中で、今後開発が進むことによりまだまだ子どもの数は増えることは容易に予想されます。幼稚園や保育園などの施設の必要性は今後更に高まってくるのです。

香椎・香住丘周辺の認可幼稚園の分布図



福岡市教育委員会作成の地図を元に作成

香椎幼稚園周辺地域の0～4歳人口の推移



ぼくたちの地域から幼稚園をなくさないで



知事は、県議会の質疑応答で香椎幼稚園がなくなった場合でも近くの幼稚園で受け入れ可能であるとの発言をしていましたが、左図のように香椎・香住丘校区から認可幼稚園がなくなってしまいます。入園を考える場合、保護者は地理的条件や、保育内容を検討して決めるのが一般的です。知事の考えはこの地域や子育て、幼児教育を軽視する姿勢の現れではないでしょうか?

先生方が組合結成!!

香椎幼稚園の存続問題につきましては、地域の皆様に署名活動や本紙の街頭配布の際ご協力いただき、また、暖かい励ましのお言葉をかけていただきまして、ありがとうございます。教職員一同、心強く思うと同時に身の引き締まる思いでございます。

この度、存続へ向けて一致団結し、また労働者としての権利を要求する手立てとして、組合結成を決断致しました。保護者の皆様の援助をいただき、機も熟した7月11日、「UIゼンセン同盟香椎幼稚園ユニオン」を結成することが出来ました。これまで以上に存続運動の最後の砦として、香椎幼稚園の必要性を訴えて参ります。そして、私たちの保育を絶やさぬよう、向上をはかるべく努めて参りますので、ご支援の程宜しくお願い致します。

執行委員長 中山田亜由美

